

# 部品・原材料調達における取り組み

理想科学は、環境配慮型製品の提供に向けて、環境への負荷が少ない部品・原材料の調達に努めています。

## 解説1 エコステージ

環境マネジメントシステムの一つ。

## 解説2 電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する指令 (RoHS指令)

2006年7月1日以降、EU圏内で販売される電気電子機器に、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニール (PBB) 類、ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE) 類の6物質を含有してはならないという法律。

## グリーン調達

当社は、環境配慮型製品を提供するために、グリーン調達を進めています。

製品の環境負荷を低減するためには、製品を構成する部品及び材料においても環境に配慮することが必要と考えています。こうした考えのもと、取引先に対し、グリーン調達の基本的な考え方や基準を明らかにするために、2006年7月に更新した「理想科学グループ グリーン調達基準第二版」をもとに、2007年2月に取引先に説明会を実施しました。

また、製品を構成する部品及び材料について、環境配慮を維持・向上するために、取引先に対し環境マネジメントシステムであるISO14001やエコステージ<sup>解説1</sup>の認証取得を要請しています。

## 理想科学グループ グリーン調達基準 (骨子)

- ①環境課題に対する改善取り組みを積極的に行っていること。
- ②適用を受ける環境関連法・条例などが遵守されていること。
- ③製造工程及び製品を構成する調達品に当社が定めた使用禁止物質が含まれていないこと。



グリーン調達基準説明会

## 環境マネジメントシステム構築状況アンケートを実施

2006年10月から2007年1月にかけて取引先に環境マネジメントシステム構築状況アンケートを実施しました。この結果、約80%の取引先が環境マネジメントシステムを取得または取得予定となっています。

一方、まだ、環境マネジメントシステムを導入していない取引先には、2006年6月に、エコステージの説明会を開催させていただき、エコステージ取得をめざして取り組んでいただいています。これまでに、当社が協力して4社が取得されました。

今後も取引先とともに、グリーン調達を進めていきます。

## 環境関連物質の含有に関する調査

JGPSSI (グリーン調達調査共通化協議会)の「調査が必要な化学物質」をもとに、グリーン調達基準の対象とする環境関連物質を定めました。そして、製品に使用する材料や部品を対象に環境関連物質の含有の有無に関する調査を実施しています。

取引先には、材料や部品に含有する環境関連物質の情報提供を要請しており、提供された情報を当社で検証し、使用禁止物質が製品に含まれていないかどうかを確認しています。また、必要に応じて、材料や部品に含有する環境関連物質の分析を行っています。

## 有害物質の使用制限 (RoHS) 指令への対応

当社は、「海外事業活動及び製品輸出に際しては、現地の環境に与える影響に配慮し、現地社会の要請に応えられるように努める」ことを環境行動指針の一つに掲げ、輸出先の要請に応じています。

EUのRoHS指令<sup>解説2</sup>に続き、中国版RoHSといわれる鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDEの使用禁止の法規制に対応するため、含有化学物質の調査・測定を行いました。

中国向けに出荷する製品については、電子情報製品汚染制御マーク及び梱包材表示を実施しています。